

南多摩病院リハビリテーション科の紹介

医療法人社団永生会南多摩病院リハビリテーション科
理学療法士 井出 大、大淵康裕

【病院概要】

当院は昭和 29 年に東京都国民健康保険組合連合会により開設され、一貫して公的病院として地域医療に重要な役割を果たしてきた。この歴史のなかで平成 21 年 4 月より医療法人社団永生会に承継され、永生会のなかで急性期病院の役割を担っている。立地は西八王子駅南口前徒歩 1 分という大変アクセスの良い場所に位置し、東京都指定二次救急医療機関として地域医療に貢献している。許可病床数は 170 床（小児科 10 床含む）、人工透析 32 床、一般病床入院基本料は 7:1 となっており、平均在院日数は 16.4 日である。また現在、新棟（地上 8 階、地下 1 階）建築中であり平成 25 年度竣工予定である。標榜診療科は内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、小児科、救急科、透析科、眼科、皮膚科、婦人科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科である。

【基本理念と運営方針】基本理念は「わたしたちは、地域のひとびとにかけがえのない健康を守るため、安全と信頼と温もりのある医療を提供します」であり、運営方針は（①：地域の急性期病院として必要な医療を提供します。②：医療を受ける人々の人格の尊厳と、意思を最優先した医療を提供します。③：医療安全を最大限に確保し、最善の医療と提供します）である。

【施設基準】脳血管疾患等Ⅰ、呼吸器Ⅰ、運動器Ⅰ、がんリハビリテーション（平成 23 年度取得予定）

【人員】理学療法士 7 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 1 名、マッサージ師 1 名、クラーク 1 名から構成され、平成 23 年度からは理学療法士 1 名、言語聴覚士 1 名増員予定である。

【実績】

疾患・部位別の処方割合：入院では運動器下肢 29%、呼吸器 14%、運動器脊椎 12%、脳血管疾患 9%、廃用症候群 7%、運動器上肢 7%、消化器 6%、がん 5%、心疾患 5%、代謝 5%、難病 1% である。外来では運動器下肢 44%、運動器上肢 31%、運動器脊椎 19%、脳血管疾患 2%、呼吸器 1%、廃用症候群 1%、がん 1% となっている

【リハビリテーション科の特色】

1. 入院患者様に対するリハビリテーションのみならず、外来患者様に対するリハビリテーションにも力を入れており、通常 1 症例につき週 2~3 回の頻度で実施している。
2. 当院整形外科医による各種手術方法は主に低侵襲小切開法で施行しており、術後疼痛や術後出血を最小限にすることを目指している。そのため術後翌日からの離床・歩行などのリハビリテーションを積極的に推し進めている。
3. 呼吸器内科医・看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・薬剤師・MSW とともに包括的呼吸リハビリテーションを展開している。
4. 整形外科疾患・中枢神経疾患に合併した腎不全等による人工透析症例に対するリハビリテーションの実施。
5. リハ専門職 11 名中 10 名がアメリカ心臓協会認定 BLS（1 次救命処置）ヘルスケアプロバイダーに認定され、そのうち 6 名が BLS インストラクターの認定を受け、リハ室内での急変対応・医療安全確保を目的に技術習得に努めている。

【まとめ】

今後、当院リハビリテーション科は圏域内の医療機関・施設・介護保険事業所との連携をさらに強め、地域医療の一翼を担うため前に前に前進を続けていく所存である。